

日刊 動労千葉

83. 12. 30

No. 1531

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

1983年を振り返って 最も印象に残るできごとは

11支部の書記長に聞く

〰〰〰

『日刊動労千葉』編集委員会は、一九八三年の闘いを最先頭で担いぬいた十一支部の書記長のみなさんに、次の三つの質問をしてみました。

〰〰〰

1. 一九八三年を振り返って、次の質問にお答え下さい。
世界の出来事のうち、最も印象に残ることは何ですか。そのことについてどう思いますか。
2. 国内の政治情勢で最も印象に残る出来事は何ですか。そのことについてどう思いますか。
3. 国鉄内の問題で最も印象に残ることは何ですか。そのことについてどう思いますか。

成田支部 書記長 大須賀 昭 男

〇

世界の動きで最も印象に残ったことは、米帝のグレナダ侵略、ソ連の大韓航空機撃墜事件、そして中米、中東、アジアを中心とする反米・反帝の闘争です。米帝による戦争挑発と反米・反帝の闘争は、現代世界が「戦争と労働者解放」の時代に到達していることを告げています。今日、広島・長崎の被爆者は悲惨な戦争の生き証人として帝国主義の反人間的戦争を告発し、また、西ドイツなどの西欧諸国で何百万人の労働者が反戦反核の闘いに決起しました。今こそ闘うアジア人民との国際連帯をかけて世界戦争を阻止せねばならないことを痛感します。

〇

国内の動きで最も印象に残ったことは、米帝レーガンの来日です。米帝レーガンの来日と日本首脳会談は、原子女空母カールビンソンの入港をはじめとする一連の軍事的動きや、一〇〇〇カイリ防衛を内容とする日米首脳会談をみるまでもなく、日本が再びアジア太平洋の盟主として、国際政治に登場し、一層のアジア侵略と世界戦争策動を強めることを明らかにしました。戦後の総決算を叫ぶ中曽根の「日本列島不沈空母化」は戦争策動を許してはなりません。中曽根の軍拡を反戦反核の砦・三里塚で粉碎するチャンスが到来

したと確信します。

〇

国鉄の動きで最も印象に残ることは、昇給協定を動労「本部」が鉄労と共に片仕切りを強行し、そして国鉄当局が昇給できない原因を「国労と動労千葉にある」と宣伝していることです。「事実があれば適用する」なる協定内容を片仕切りの既成事実のうえに国労や動労千葉に屈服を強要し、職場に賃金差別分断をもち込み、組織を破壊せんとする国鉄当局と動労「本部」。これは、国鉄当局と動労「本部」が結託した国鉄労働運動破壊攻撃の一挙のエスカレートであります。いまこそ、動労「本部」革マルを国鉄から一掃し、臨調・行革の要、国鉄労働運動破壊攻撃を粉碎しよう。



写真でみる 動労千葉の闘い

本号をもって、1983年内の『日刊』を終了いたします。来年は、1月1日「元旦号」のほかは1月6日号より通常の発行体制にもどります。この1年間の前進をしっかりとふみ固めて、決戦必勝の84年をわが手できりひらこうではありませんか。

新年は、次のスケジュールから開始されます。

- 1月 7日（土）千葉県労連旗びらき
- 8日（日）反対同盟旗びらき
- 9日（月）青年部旗びらき
- 11日（水）中野公判
- 12日（木）乗務員分科常任委員会
- 14日（土）動労千葉弁護団総会
- 15日（日）動労千葉団結旗びらき
- 17日（火）青年部労働講座
- 19日（木）乗務員分科学習会
- 22日（日）船橋市民の会旗びらき
- 25～27日 スキー大会・講習会

それでは、全組合員のみなさん、全国の読者のみなさん、よいおとしをお迎えください。
（編集部一同）

